



## 出水市の取組 ～ツルと湿地の保全～

出水市ツル博物館クレインパークいずみ 原口優子



出水で記録のあるツル7種



タンチョウ

ソデグロヅル

マナヅル

ナベヅル

カナダヅル

アネハヅル

クロヅル

世界のツル8種



オグロヅル

アメリカ  
シロヅル

ホオカザリヅル

ホオジロ  
カンムリヅル

ハゴロモヅル

カンムリヅル

オーストラリアヅル

オオヅル



# ナベヅル Hooded Crane

推定生息数 約1万5000羽

世界の約8割が渡来

絶滅危惧Ⅱ類



マナヅル

White-naped  
Crane

推定生息数 約7000羽

毎年約3000羽が渡来

絶滅危惧Ⅱ類

毎年数羽渡来

クロヅル



カナダヅル



ナベクロヅル



渡来する年もある

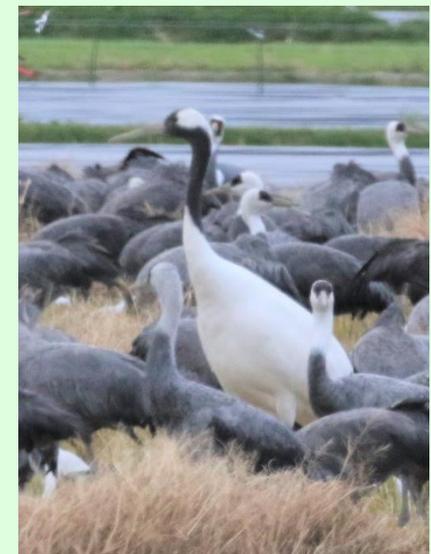
ソデグロヅル



アネハヅル



タンチョウ



2,922



令和6年 約15,000羽



12,036

## 休遊地の借上げ



## 網張り



## 農作物への被害対策



## ねぐらの整備



## 鹿児島県ツル保護会

## 給 餌(麦)



## 死亡個体の回収



※現在は防護服を着て作業をしています

# 課題



## ツルの分散

給餌量削減

食害

栄養不良

懸念

- ・免疫力低下
- ・居残り

# ラムサール条約湿地『出水ツルの越冬地』と 湿地自治体認証

2021年11月18  
日ラムサール条  
約湿地に登録！

2022年5月  
日本初！  
湿地自治体認証



# ラムサール条約湿地 「出水ツルの越冬地」



出水市は北東に矢筈連峰、南に紫尾山系の山塊が東西に延び、西北は八代海です。出水平野はこの山塊と海の間広がる扇状地で、扇状地の特徴として扇中央付近では地表水が少なく、扇端で水が湧き出ます。出水のラムサール条約湿地は、紫尾山を源とした伏流水が湧き出る扇端に位置します。

紫尾山は固有種のヒノタニシダの植生や薩摩半島におけるブナの南限地でもあり、絶滅危惧種のクマタカも生息しています。

478  
ha

## 出水の登録湿地はツルが来る田んぼ！



「出水ツルの越冬地」は主に干拓地で、早期米や普通米を生産しています。  
田んぼは食料を供給するだけでなく、ツルをはじめとする様々な生き物の生息場所であり

# ラムサール条約利活用計画

保全・再生

自然餌量を増やす

利用調整事業

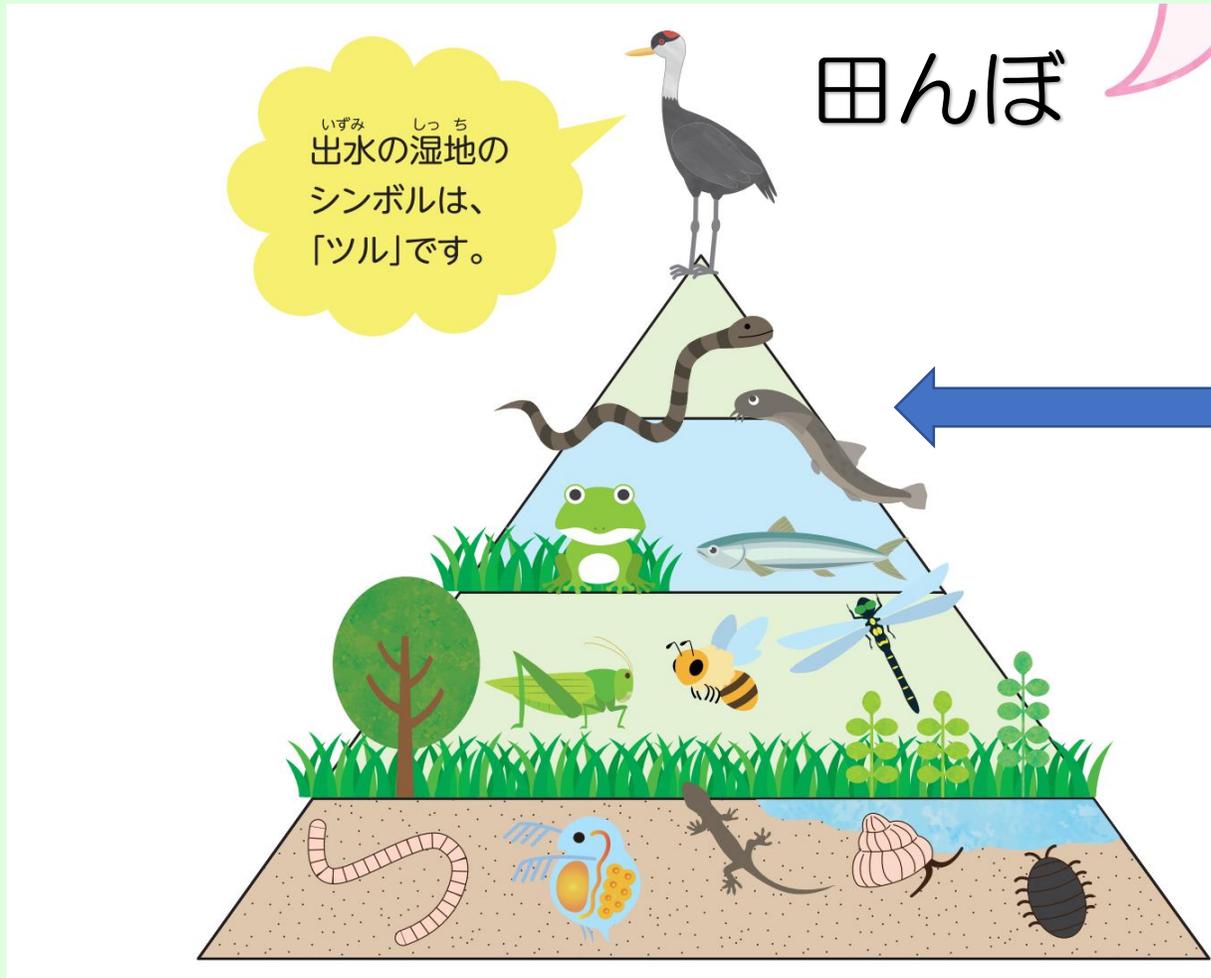
- ・ 防疫
- ・ 地域との共生（鳥見のマナー）
- ・ 保全

ワイズユース  
\*エコツーリズム

持続可能な保全  
デメリットをメリットへ



# ツルの保全 ⇔ 湿地の保全



田んぼ

川

海



ラムサール条約を結んでいる国      ラムサール条約の3

山

画像：出水市ラムサールパンフレット

# 湿地自治体認証

- ・ラムサール湿地や他の重要な湿地がある、又は隣接する。
- ・湿地とその生態系サービスの保全、管理
- ・地域と連携して、ワイズユース（賢明な利用）を進めている。 等



特定の地域だけでなく、市全体のイメージアップやブランド化

産業の  
ブランド化



市全体で環境  
に関する活動、  
学習に取り組ん  
でいく



ご清聴ありがとうございました